

# OMEGA<sup>®</sup>/HBM Mシリーズカップセル型箔 ひずみゲージ ファイバーガラス 強化フェノール樹脂キャリア

オメガ エンジニアリング

- ✓ 変動負荷に対する高耐久性
- ✓ 高温範囲 300°C
- ✓ 広範囲のさまざまなタイプ

Mシリーズひずみゲージは、ひずみレベルが増大し、300°C までの高温で、変動負荷に対する高耐久性を目的に開発されました。特殊なニッケル・クロム合金で作製された測定グリッドを備える箔ひずみゲージです。OMEGA/HBMは、この特別なひずみゲージを多様な形状、測定グリッド長、温度応答整合で提供しています。

ファイバー複合体などの高強度を実現する新しい素材によって、特に部品を機械的性能限界まで押す場合の測定に使用されるひずみゲージに大きな課題が課されています。増大したひずみレベルで変動負荷にさらされるひずみゲージが劣化し、試験対象の部品より早く機能しなくなるという状況が発生する恐れがあります。Mシリーズは特に、変動負荷に対する高耐久性を目的に開発され、高強度を特徴とする材料の試験を可能にします。

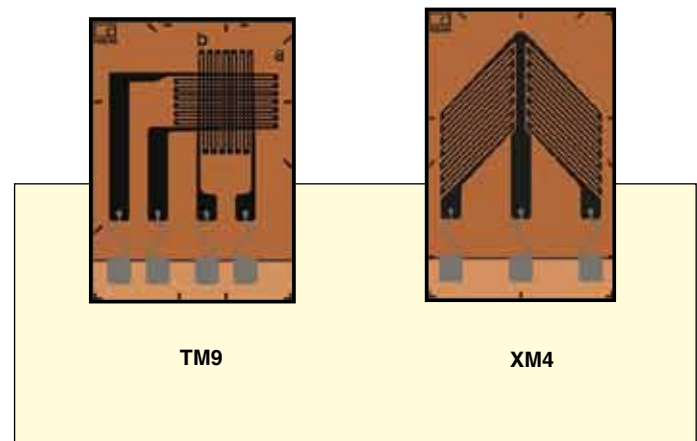
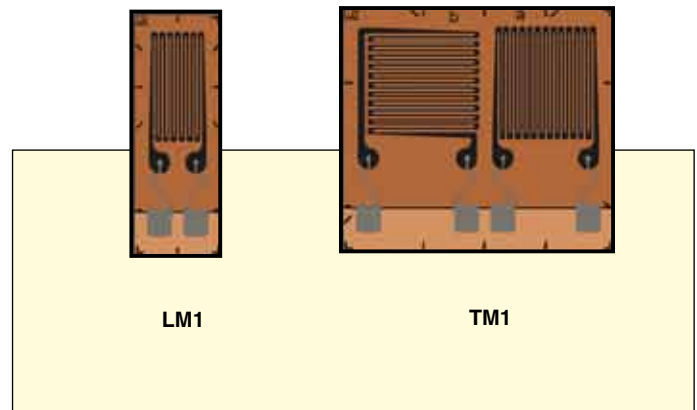
Mシリーズひずみゲージのタイプはすべて、様々な測定グリッド長が用意されています。

- 1.5 mm: スペースに制約がある場合、または高度選択的な測定結果が必要な場合
- 3 mm: 不均質な材料、およびスペースが要件であるか要件ではない場合
- 6 mm: 不均質な材料、およびスペースが要件ではない場合

適正な測定グリッド長: 測定グリッド長は、測定の目的に応じて変わります。ひずみゲージの測定結果は、ひずみの平均として決定されるためです。一般に、3~6 mm の測定グリッド長の結果が良好です。

コンクリートまたは木材など、不均質な材料がある場合は、長い測定グリッド長を推奨します。長いひずみゲージは、加工品の不均質性をつないで、測定結果として、測定グリッドの下のひずみを返します。

短い測定グリッドは、局部的なひずみ状態の検出に適しています。したがって、ひずみ勾配、すなわち、ノッチ応力と類似応力の最大点の決定に適しています。



すべて実寸より大きく表示されています。

